



M-Patch 2

Passive Stereo Controller / Switcher

取扱説明書
Version 1.0



株式会社 サウンドハウス
〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3
TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222
<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

安全上の重要事項

1. 本マニュアルに記載されているすべての警告と指示に従ってください。
2. 本体を水の近くで使用しないでください。
3. 本体を水または液体の中にいれないでください。
4. 本体に直接エアゾールスプレー、クリーナー、消毒剤や殺虫剤を使用しないでください。メンテナンスは乾いた布で拭いてください。
5. 本体の通気口をふさがないように、マニュアルの指示に従って設置してください。
6. 熱源（ラジエーター、ストーブ、アンプ）などの近くに設置しないでください。
7. 安全のため、必ず付属の電源アダプターをご使用ください。
8. 電源コードは踏まれたり、挟まれる事の無いようにしてください。
9. 電源コードを抜く際は、コードを引っ張らず、プラグ部分を持って引き抜くようにしてください。
10. 製品受領時に外部に損傷（電源コード等を含む）が無いか確認してください。もし製品にダメージがあった場合、ただちに販売店へ連絡してください。修理を行わずに使用を続けると更なる深刻なダメージを被る恐れがあります。その状況で使用を続けた場合は、保証期間内でも保証外の対応となる場合があります。
11. アクセサリーやパーツは、メーカーが定めた物をご使用ください。
12. 長期間使用しない場合や、雷が発生した時はプラグを抜いてください。
13. 電源周りのトラブルや液体をこぼしてしまった時、高い湿度にさらされた時は、販売店に相談してください。そのまま使用を続けたり、無理に自分で修理を試みないでください。
14. 電源コードのプラグは抜き差し可能で、差し込むだけで使用できます。
15. 地域の法律に沿ってご使用ください。
16. 設置について疑問が生じた場合は、販売店に相談してください。

メンテナンスと修理

本製品は最新の電子技術と素材を使用しているため、それに応じたメンテナンスと修理を行う必要があります。機材へのダメージ、使用者へのケガを防ぐためにメンテナンス/修理はJBLの代理店にて行ってください。

目次

安全上の重要事項.....	2
メンテナンスと修理.....	3
はじめに.....	5
概要.....	5
主な機能.....	5
仕様.....	6
開梱とセットアップ.....	7
接続.....	8
フロントパネル.....	10
応用例.....	14
入出力ブロック・ダイアグラム.....	15

はじめに

この度は JBL M-Patch 2 をご購入いただき、誠にありがとうございます。M-Patch 2 は、プロオーディオ機器用パッシブモニター・コントローラーです。ラックマウントにも対応しており、レコーディング、配信サービス、ビデオ制作、PA システムなどに必要な機能を揃え、幅広い用途に使用できます。本製品の性能を最大限に発揮させ、末永くお使いいただくため、ご使用になる前に、この取扱説明書を必ずお読みください。

概要

マルチ・チャンネル・ステレオ・アッテネーターを装備しており、音源の音をそのままに、ピュアでクリーンなサウンドを出力します。頑丈なメタルエンクロージャを採用し、過酷な環境で使用されるプロオーディオ機器に必要な耐久性を備えています。各種 DTM ソフトウェアや DAW、MIDI システムでの利用、プロ向けマルチチャンネルシステム、分散音響システム、その他ポストプロダクションにおいて、どこでも高品質なゾーンとチャンネルコントロールを提供します。

注意

音圧 (SPL) はスピーカー、ヘッドホン、アンプなどに依存します。大きい音量で音を聴き続けると聴覚に影響がでることがあります。また、大音量で再生を繰り返すと再生機器に障害を与えることもあります。音量を調整するときは十分、気をつけてください。

入出力ケーブルはしっかりと固定してください。

主な機能

- 高品質なパッシブ・ボリューム・アッテネーターを搭載
- 入力チャンネル x 2、出力チャンネル x 2 搭載
- XLR フォン・コンボ入力 x 2、または RCA、3.5mm ステレオミニ入力切り替え
- XLR フォン (バランス/アンバランス) 出力端子搭載
- モノラル/ステレオ・サミングスイッチ搭載
- ミュート機能
- ヘッドホンアンプ搭載
- 高品質部品を採用
- 頑丈な構造を採用
- ラックマウント (取り付け金具付属) とデスクトップ、両方に対応

仕様

モデル	M-Patch 2	
入力	入力1	XLR フォン・コンボ×2 最大入力レベル: > +26dB
	入力2	RCA ステレオペア (L/R)×1
	入力3	3.5mm ステレオミニ×1
出力	出力1 (L/R)	XLR×2
	出力2 (L/R)	XLR×2
ヘッドホン出力	TRS ステレオフォン×1 出力レベル: > +26dB	
	インピーダンス	0~5kΩ
	出力	320mW@32Ω
オーディオ性能	周波数特性	20Hz~20kHz±0.5dB
	S/N 比	> -120dB
	チャンネルクロストーク	> -80dB
	歪み率	< 0.0004%
電源	電源アダプター (付属)	DC12V~16V、200mA
寸法 (L×W×H)	220×120×86mm	
質量	1.0kg	

開梱とセットアップ

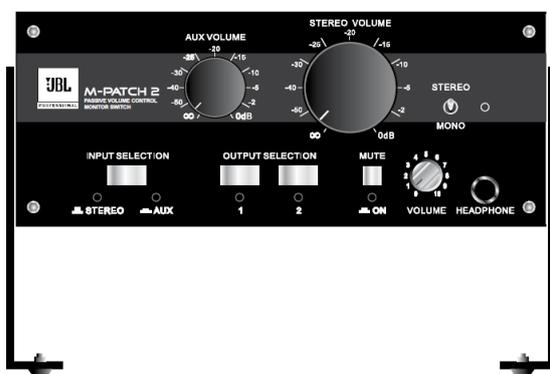
開梱

輸送時の破損がないことを確認してください。万一破損が確認された場合は、配送業者と発送元にご連絡ください。

セットアップ概要

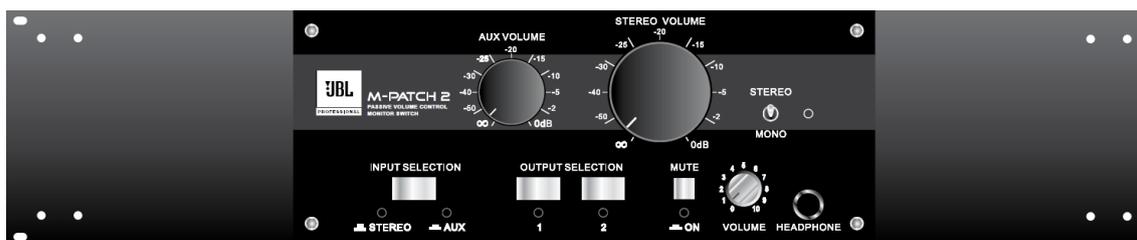
本製品は、デスクトップ設置、ラックマウント、両方に対応しています。

デスクトップ



付属のラック/スタンド・マウント・ブラケットを上図のように取り付けてデスク上に置くことができます。本体の位置はブラケットの穴を選択して変更することができます。

ラックマウント



ラックに取り付けるときは、付属のラックマウントキットを両サイドに取り付けてから行ってください。

設置

本製品には電子回路と絶縁トランスが内蔵されています。過熱を防ぐため、設置の際は周囲に十分な隙間を空けてください。また、アンプなど高温になる機器の上に置かないでください。さらに、高周波を発する機器の近くに設置しないでください。

接続

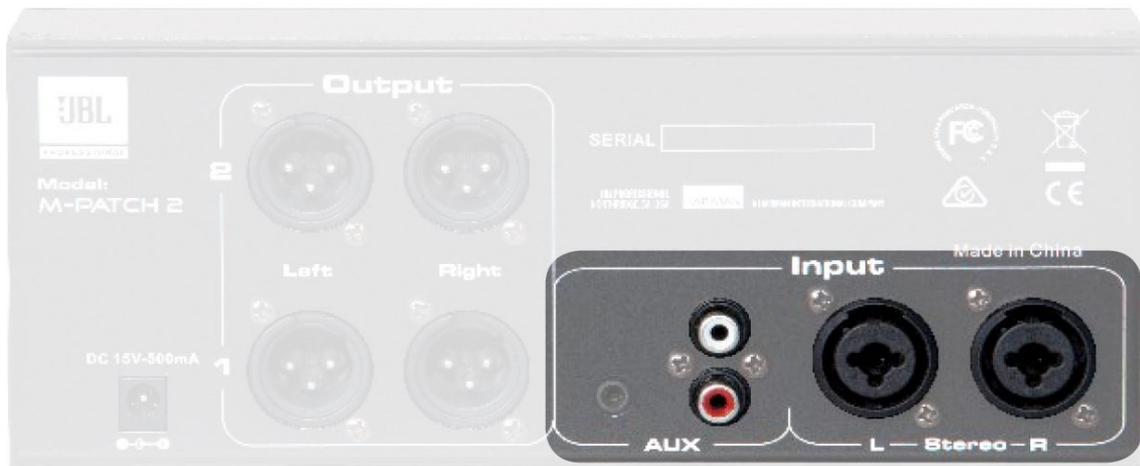


本製品のリアパネルには2つの入力チャンネル（AUX、Stereo）があります。

注意

本製品はマイク/ライン信号を入力することができます。パワーアンプ出力は接続しないでください。

ステレオ入力



ステレオメイン入力 L、R として、XLR フォン・コンボ端子が用意されていて、MBox2 などのオーディオ・インターフェースを接続することができます。接続には XLR ケーブル、または TS/TRS フォンケーブルを使用してください。

AUX 入力

AUX 入力として、RCA (L、R) x 2 と 3.5mm ステレオミニが用意されています。CD プレイヤーやコンピューターのライン出力などを接続することができます。

注意

AUX とステレオ入りに接続した信号は、フロントパネルのボタンを使用して 2 つの出力チャンネル両方、または片方に接続されます。

アナログ出力

アナログ出力として、XLR アナログ出力 L&R (バランス) が 2 対用意されていて、モニター、デジタルレコーダーなどに接続します。



注意

アナログ出力はフロントパネルのつまみにより ON/OFF することができます。出力 1&2 は両方共 ON にすることができ、レコーディング機器とモニター同時に接続して使用するのに便利です。

電源接続

本製品にヘッドホンを接続するときは付属の電源アダプターを接続します。
青色 LED が点灯し、ヘッドホンが使用可能となります。

注意

本製品に接続する全ての入力をコントロールするのに電源アダプターは必要としません。



フロントパネル

STEREO/AUX 入力選択

入力ソース（ステレオ入力、または AUX 入力）を切り替えます。
STEREO を選択すると、XLR フォン・コンボに接続された信号を、
AUX を選択すると、RCA と 3.5mm ステレオ入力に接続された
信号を出力します。

注意

RCA と 3.5mm ステレオ入力には同時に信号を入力しないでください。

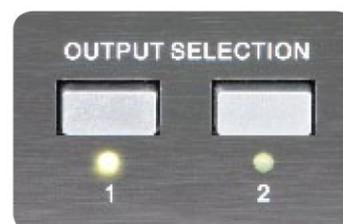


1 & 2 OUTPUT SELECTION

STEREO/AUX 入力で選択した信号を XLR フォン出力
（バランス）チャンネル 1、2 に接続します。両方同時に選択
することもできます。

ヒント

ステージやルームモニターなど、2 種類のモニタースピーカーを接続し、選択することが
できます。



入力ボリューム・ローターリー・コントロール



AUX VOLUME ローターリーつまみは、AUX 入力 (RCA/3.5mm ステレオミニ) に接続された機器のモニター出力レベルを調整します。

STEREO VOLUME ローターリーつまみは、ステレオ入力 (XLR フォン・コンボ) に接続された機器のモニター出力レベルを調整します。

ON/OFF MUTE スイッチ

ON にすると本製品に接続された機器はミュートされます。



MONO/STEREO サミングスイッチ

L/R チャンネルの信号をサミングして、モノラルに変換します。フェーズ・キャンセルのテストや AM ラジオのプログラムなどをミックスするのに便利です。



ヘッドホンアンプ・ボリューム・コントロールと出力端子

ヘッドホンにより INPUT SELECTION スイッチで選択した信号をモニターすることができます。

ヘッドホンをヘッドホン端子 (TRS フォン) に接続し、フロントパネルのつまみを使用してボリュームをコントロールします。

注意

内蔵のヘッドホンアンプを使用するときは、付属の電源アダプターを接続してください。

ヘッドホンアンプの VOLUME は、STEREO/AUX VOLUME の影響を受けます。



応用例

アナログ信号の音量を調整します。各再生機器に搭載されたボリュームは使用せず、本製品のフロントパネルにあるロータリーつまみを使用してより精密に音量を調整することができます。ミキサーのステレオ出力、マイクプリアンプやEQの出力を調整することができます。5.1 サラウンドシステムを接続して、左右のサラウンド・チャンネルを調整します。本製品を3台使用すると、6チャンネルのバランスを調整することができます。

5.1チャンネルを含むさらに多くのマルチチャンネルモニターシステム(1ペアチャンネル、2ペアチャンネル、全チャンネル)のレベルをコントロールすることができます。また、出力をA/Dコンバーターに繋いで出力のクリッピングをコントロールしたり、入力にD/Aコンバーターを繋いで出力をコントロールし、シグナルパスにある機器のオーバーロードを防ぐこともできます。さらに分散音響システムのローカルコントロールなど、応用できる用途には限りがありません。

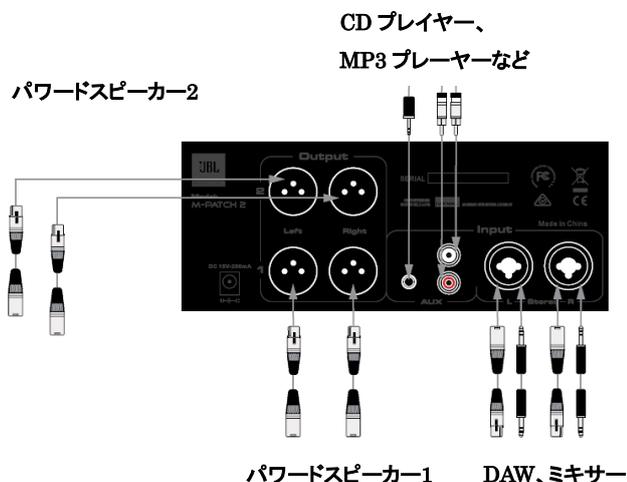
コンピューター・オーディオ・システム

DAWなど、コンピューター・オーディオ・システムとモニターの間には本製品を接続して音量コントロールとモニターの切り替えを行うことができます。

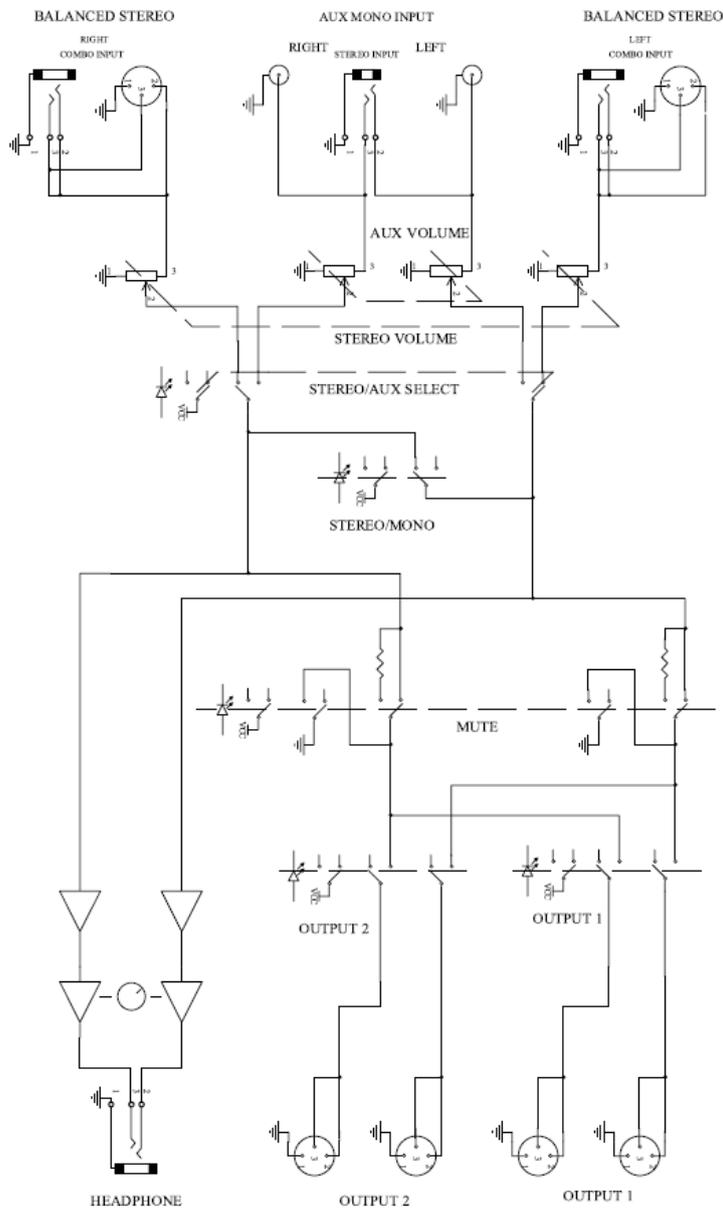
接続方法

1. 本製品に接続されたスピーカーの電源をOFFにし、ボリュームコントロールつまみを左一杯に回します。
2. コンピューターに接続されたサウンドカードやオーディオインターフェースからの出力を本製品のステレオ入力端子(XLRフォン・コンボx2)に接続します。
3. CDやMP3プレイヤーをAUX入力端子(RCA、3.5mmステレオミニ)に接続します。
4. OUTPUT(XLR)にモニタースピーカーやパワーアンプを接続します。全部で2セットのモニターを接続することができます。
5. コンピューター・オーディオ・システムのボリュームを0dB(最大フルゲイン)にします。モニターの電源を入れて音源を再生しながら、ゆっくりと本製品のボリュームを上げてモニターの音量を調整します。

以上により、ステレオとAUX入力の切り替え、モニタースピーカーの選択とボリュームコントロールができます。



入出力ブロック・ダイアグラム





※この取扱説明書に記載されている商品名、会社名などは、その会社の商標登録です。
また、掲載されている図、写真などの著作権はその会社にあります。